

2025年度
助産別科
入学者選抜問題
母性看護学

試験開始の合図があるまでに、次の注意事項をよく読んでください。

1. 試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。
2. 解答用紙は、マーク用解答用紙と記述用解答用紙が両面に印刷されています。
マーク式の問題はマーク用解答用紙に以下の例のようにマークしてください。
(例)

解答										
1	①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩
2	①	②	③	●	●	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩

※各問題に解答の数を示しています。それ以外の答えの数をマークしても正解にはなりません。

3. 机の上には、受験票・鉛筆・シャープペンシル・消しゴム・鉛筆削り（電動式は除く）・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡以外のものは置かないでください。
 4. 問題・解答用紙の両方に必ず受験番号・氏名を記入してください。また、受験番号をマークしてください。提出の前には記入漏れがないか再度確認してください。
 5. 問題は全問解答必須です。
 6. 試験中に問題冊子の印刷不鮮明・ページの落丁・乱丁に気付いた場合、また問題の内容について質問などのある場合には、手を挙げて監督者に知らせてください。
 7. 問題冊子の余白等は適宜利用して構いません。
 8. 配布された問題・解答用紙は試験終了後回収しますので、持ち帰らないでください。
- ◇携帯電話は、電源を切ったうえで鞆の中にしまってください。

受験番号		氏名	
------	--	----	--

[問題 1] 各臓器への血流は、大動脈から分岐した動脈がその臓器に外側から侵入することによって保持されている。臓器によっては伸びて大きくなる部分と動かない部分とがある(図1)。臓器の一部が伸びても外側から侵入する動脈がちぎれないで済むためには、臓器のどの部分から侵入するのが合理的か。1つ選べ。

1. ①
2. ②
3. ③
4. ④

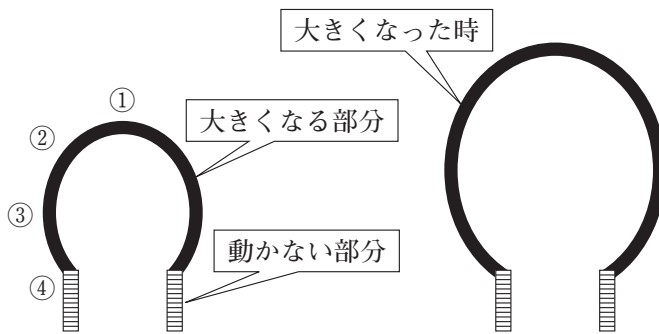


図1

[問題 2] 生殖生理学に關与する臓器とホルモンの概要を図2に示す。負のフィードバックに相当するのはどれか。1つ選べ。

1. ①が増えると②が増える
2. ②が減ると③が増える
3. ②が減ると④が減る
4. ③が増えると①が減る

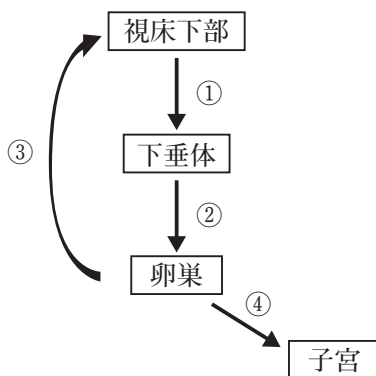


図2

【問題3】 血液の pH 調節に関わっているのはどれか。1つ選べ。

1. 胃
2. 肺
3. 心臓
4. 肝臓

【問題4】 水溶性ホルモンはどれか。1つ選べ。

1. 甲状腺ホルモン
2. コルチゾール (副腎皮質ホルモン)
3. エストロゲン (卵胞ホルモン)
4. FSH (卵胞刺激ホルモン)

【問題5】 細胞外液に比べて細胞内液で濃度が高いのはどれか。1つ選べ。

1. クロール
2. カリウム
3. カルシウム
4. ナトリウム

【問題6】 鉄欠乏性貧血でみられるのはどれか。1つ選べ。

1. 黄疸
2. 徐脈
3. 舌炎
4. 発熱

【問題7】 危機的出血時の状態を評価するショックインデックスに含まれる項目はどれか。1つ選べ。

1. 体温
2. 心拍数
3. 呼吸数
4. 酸素飽和度

【問題8】 下肢の深部静脈血栓が剥離して塞栓症が起こる可能性があるのはどれか。1つ選べ。

1. 冠動脈
2. 腎動脈
3. 肺動脈
4. 総頸動脈

【問題9】 陣痛が有効と判断できるのはどれか。1つ選べ。

1. 胎動の活発化
2. 内診所見の進行
3. 児頭先進部の浮動
4. 産婦による疼痛の訴え

【問題10】 Aさん（28歳）。感染症の検査を希望して来院した。結婚後避妊せずに2年経過しているが妊娠したことはない。1か月前に夫がクラミジアによる尿道炎に罹患したため、Aさんを検査したところ、子宮頸部の擦過検体からクラミジアが検出された。夫から感染して不妊症になったと診断書に記載してほしいという。

診断書の記載として正しいのはどれか。1つ選べ。

1. いかなる内容の診断書も作成しない
2. 夫からクラミジアに感染したと記載する
3. 夫からクラミジアに感染し不妊症になったと記載する
4. 本人についてだけ、クラミジアに感染したと記載する

【問題11】 腹痛を伴う可能性が高いのはどれか。1つ選べ。

1. 子宮下垂
2. 卵管閉塞
3. 子宮内膜炎
4. カンジダ膣炎

【問題12】 大動脈から左右総腸骨動脈への分岐部は体表から見るとどこに近いか。1つ選べ。

1. 肋骨下縁
2. 臍 高
3. 腸骨上縁を結んだ線の中央
4. 恥骨結合上縁

次の文を読み、[問題13] [問題14] [問題15] に答えなさい。

Aさん（32歳、初産婦）。陣痛発来のため来院した。妊娠初期から妊婦健康診査を受けており異常を指摘されたことはない。妊娠36週の産道の分泌物検査では乳酸桿菌のみ。妊娠39週3日の午前0時に自然陣痛が発来し、午前3時に入院した。意識は清明。身長160cm、体重64kg（非妊時54kg）。体温36.8℃。脈拍76/分、整。血圧110/70mmHg。子宮底長35cm、腹囲98cm。下腿浮腫はない。Leopold触診法で見えは頭位、見背は母体の左側。超音波検査で見えの推定体重は3,210g、胎盤の位置は子宮底部。内診所見は子宮口開大3cm、展退度30%、見頭下降度SP-1cm、子宮口の位置は後方から中央、硬さは軟。見頭矢状縫合は骨盤横径に一致し、後頭部が先進。破水は認めない。

[問題13] 入院時にまず行うのはどれか。1つ選べ。

1. 抗菌薬の投与
2. 陣痛促進薬の投与
3. 分娩監視装置の装着
4. 子宮頸管粘液の炎症検査

[問題14] 入院した時点で見頭の前頭部は母体のどの方向にあるか。1つ選べ。

1. 0時（恥骨側）
2. 3時（左側）
3. 6時（尾骨側）
4. 9時（右側）

[問題15] 陣痛は次第に増強し、午後2時の陣痛周期は2分、持続時間は60秒。内診所見は子宮口全開大、展退度100%、見頭下降度はSP+4cm、見頭最大周囲径は骨盤峽部にあった。この時点での評価として適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 陣痛が弱い
2. 骨産道が狭い
3. 軟産道が硬い
4. 正常な経過である

【問題16】 「保健師助産師看護師法」の第5条において対象とされているのはどれか。1つ選べ。

1. 妊 婦
2. 産 婦
3. 褥 婦
4. 新生児

【問題17】 2022（令和4）年の合計特殊出生率はどれか。1つ選べ。

1. 1.46
2. 1.44
3. 1.39
4. 1.26
5. 1.20

【問題18】 母子保健法に規定されている内容で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 「養育医療」は市町村が給付する
2. 出生体重が2,500g未満の場合は届け出なければならない
3. 「妊産婦」とは妊娠中又は出産後1年に満たない女子をいう
4. 市町村長は満1歳6か月～3歳未満の幼児に「健康診査」を行う
5. 未熟児の訪問指導は医師および保健師・助産師・看護師でなければならない

【問題19】 ドメスティックバイオレンス（DV）についての内閣府の近年の実態調査による「配偶者からのDV被害後の別離」をしない理由は何か。1つ選べ。

1. 子どもがいるから、子どものことを考えたから
2. 配偶者からの脅迫、仕返し
3. 経済的な不安
4. 性的依存

[問題20] 母子関係の理論で正しい組合せはどれか。2つ選べ。

1. エディプスコンプレックス ————— ハーロー (Harlow. H. F)
2. 出生直後の母子接触 ————— ローレンツ (Lorenz. K)
3. カンガルーケア ————— クラウス (Klaus. M. H.)
4. 鳥の刷り込み ————— ボウルビィ (Bowlby. j)
5. 自己効力感 ————— バンデューラ (Bandura. A)

[問題21] 卵細胞の核にある染色体の成熟分裂による染色体数はどれか。1つ選べ。

1. 23+X
2. 23+Y
3. 22+X
4. 22+Y

[問題22] 卵膜について誤っているのはどれか。2つ選べ。

1. 羊膜は最内層にある
2. 絨毛膜は最外層にある
3. 卵膜は3層の膜から成り立つ
4. 絨毛膜は胎児由来のものである
5. 羊膜は子宮内膜由来のものである

[問題23] 子宮筋腫のホルモン療法の副作用で誤っているのはどれか。1つ選べ。

1. 発汗
2. 乏尿
3. 抑うつ
4. 手足のしびれ
5. 不正性器出血

【問題24】 疾患と症状の組合せで正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 細菌性膣症 ————— 不正出血
2. カンジダ外陰膣炎 ————— 泡沫状帯下
3. 萎縮性（老人性）膣炎 ————— 点状粘膜下出血
4. 膣トリコモナス症 ————— 粥状（チーズ）帯下

【問題25】 異所性妊娠で最も多く発生する部位はどれか。1つ選べ。

1. 卵 巢
2. 卵管峡部
3. 卵管膨大部
4. 卵管間質部

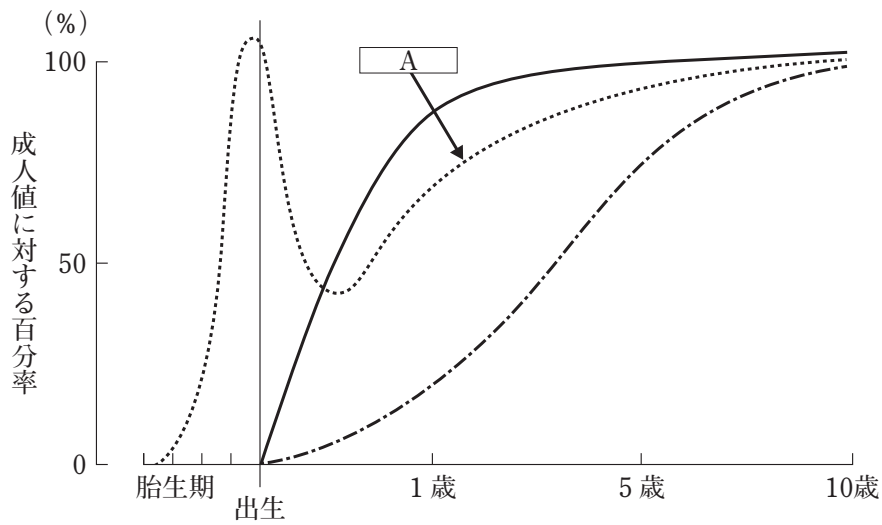
【問題26】 不妊症の原因となる性感染症で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 後天性免疫不全症候群
2. 外陰膣カンジダ症
3. 膣トリコモナス症
4. 性器クラミジア
5. 梅 毒

【問題27】 月経異常について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 原発性無月経は15歳を過ぎても月経が発来しないことである
2. 月経前症候群の症状は月経開始後2～3日で消失する
3. 稀発月経は月経周期が39日以上3か月以内である
4. 機能性月経困難症の原因はプロゲステロンである

[問題28] 以下の図は血清免疫グロブリン濃度の年齢による変動を示したものである。A が示しているのはどれか。1つ選べ。



1. IgA
2. IgE
3. IgG
4. IgM

[問題29] 新生児の生理的黄疸の機序で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 生理的に多血である
2. 胎児型赤血球の寿命が成人型赤血球より長い
3. 腸肝循環によるビリルビンの再吸収量が多い
4. 赤血球分解による直接ビリルビンの産生量が多い
5. 肝臓におけるグルクロン酸転移酵素の活性が高い

[問題30] 在胎40週3日で出生した児。出生後1分の状態は、心拍数122回/分、四肢や体幹はチアノーゼを呈し、手足を軽く曲げて弱々しく泣いており不規則で浅い呼吸をしている。足底刺激を行うと啼泣がみられる。

この児の出生後1分のアプガースコアはどれか。1つ選べ。

1. 5点
2. 6点
3. 7点
4. 8点
5. 9点

[問題31] 在胎39週3日、体重3,100gで出生した女児。生後3日目、体重2,850g、体温37.3℃、呼吸数48回/分で周期性呼吸あり、心拍数142回/分でリズム不整なし、心雑音なし。顔面から胸部にかけて皮膚の黄染があり、血清総ビリルビンは13.0mg/dLである。児の皮膚は乾燥しており、手首と足首の皮膚の一部が剥離している。昨日の児の排便回数は4回、性状は緑黄色の軟便で、排尿回数は7回である。

児のアセスメントで適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 脱水が疑われる
2. 高ビリルビン血症である
3. バイタルサインは正常である
4. 生理的体重減少の範囲である

[問題32] 産瘤について正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 産道通過時間が長い程大きくなる
2. 出生後1～2日間で生じる
3. 骨縫合に関係なくできる
4. 1週間程度で消失する
5. 波動を触れる

[問題33] 妊娠期の不快症状と予防の組み合わせで適切なのはどれか。1つ選べ。

1. 便秘 ————— 激しい運動をする
2. 腰痛 ————— 硬めのマットレスを使用する
3. つわり ————— なるべく空腹の時間をつくる
4. 下肢のけいれん ————— 葉酸を摂取する

[問題34] 胎児発育が週数相当かを評価する指標と週数の組合せで適切なのはどれか。1つ選べ。

1. CRL (頭殿長) ————— 妊娠 8 週
2. BPD (児頭大横径) —— 妊娠 10 週
3. AC (腹部周囲長) —— 妊娠 12 週
4. GS (胎嚢) ————— 妊娠 20 週

[問題35] 分娩の生理で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 第 2 頭位は左臍棘線上で胎児心音を聴取する
2. 分娩第 3 期は破水から胎盤が娩出するまでである
3. 排臨は胎児先進部が陰裂間に常に見えている状態である
4. 分娩開始は陣痛の頻度が 1 時間に 6 回以上になった時点である

[問題36] 胎児の平均的な発育状態で体重が約 1,500 g になるのはどれか。1つ選べ。

1. 妊娠 22 週ごろ
2. 妊娠 26 週ごろ
3. 妊娠 30 週ごろ
4. 妊娠 34 週ごろ

[問題37] 妊娠初期に急増し以降漸減するホルモンはどれか。1つ選べ。

1. プロゲステロン
2. エストリオール (E₃)
3. ヒト胎盤性ラクトゲン (hPL)
4. ヒト絨毛性ゴナドトロピン (hCG)

[問題38] 胎児循環から新生児循環への移行に伴う循環動態の変化で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 右心房圧の上昇
2. 左心房圧の低下
3. 血液の酸素分圧の低下
4. 動脈管内血流量の減少
5. 卵円孔を介する血流量の減少

[問題39] 正常な胎児の産道通過機序について正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 第1回旋 ————— 大泉門が先進する
2. 第2回旋 ————— 胎児の顔面は母体の前方を向く
3. 第3回旋 ————— 屈位をとる
4. 第4回旋 ————— 肩甲横径は骨盤の前後径に一致する

[問題40] 胎児心拍数の変動パターンで正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 早発一過性徐脈 ————— 胎児のアシドーシス
2. 遷発一過性徐脈 ————— 子宮胎盤循環不全
3. 変動一過性徐脈 ————— 胎動
4. 一過性頻脈 ————— 臍帯圧迫
5. 基線細変動の減少 ————— 児頭の一時的な圧迫

[問題41] 産褥の生理で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 悪露は産褥4週までに消失する
2. 呼吸性アルカローシスになりやすい
3. 産褥2～3週で循環血液量が非妊時に戻る
4. 糸球体濾過値（GFR）は産褥2週間で非妊時に戻る

[問題42] 産後6か月で事務の仕事に復帰予定の女性。保育所が近くにあり、可能であれば午前と午後に授乳したいと話す。

この目的で利用できる制度はどれか。1つ選べ。

1. 育児時間
2. 育児休業
3. 子の看護休暇
4. 出産前後の休業

次の文を読み、[問題43] [問題44] [問題45] に答えなさい。

30歳の初産婦。身長152.0 cm、非妊時体重47.0 kg。妊娠32週5日の妊婦健康診査の結果、子宮底長23.0 cm、腹囲80.0 cm、体重53.5 kg、血圧154/98 mmHg、下肢浮腫（±）、尿蛋白（+）、尿糖（-）、ヘモグロビン11.2 g/dL。胎児心拍数140 bpm、推定体重1,100 g、30分間のノンストレステスト（NST）で3回の一過性頻脈がみられた。この結果、入院となった。

[問題43] 入院時のアセスメントで適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 肥満妊婦
2. 妊娠貧血
3. 胎児機能不全徴候
4. 胎児発育不全徴候
5. 妊娠高血圧症候群

[問題44] 入院時の看護で優先度が高いのはどれか。1つ選べ。

1. 下肢の挙上
2. 飲水の制限
3. 面会の制限
4. 活動の制限

[問題45] 入院翌日、血圧170/100 mmHg、尿蛋白1.8 g/日、尿量1,350 mL、下肢浮腫（2+）であった。「頭が痛くて、目がチカチカする。胃の辺りもムカムカする」との訴えがあった。この時の対応で正しいのはどれか。1つ選べ。

1. 騒音を避ける
2. 鎮痛剤を渡す
3. 冷罨法を行う
4. 室内を明るくする

